

# 奨励賞



設計担当者

**井坂幸恵**

東京建築士会、bews / (有)ビルディング・エンバイロメント・ワークショップ 一級建築士事務所



共同設計者

**田邊雄之**

東京建築士会  
(株)田邊雄之建築設計事務所

**佐藤 淳**

東京建築士会  
(株)佐藤淳構造設計事務所

**大塚悠太**

東京建築士会、bews / (有)ビルディング・エンバイロメント・ワークショップ 一級建築士事務所 (元所員)



工場 / 茨城県ひたちなか市

## コロナ電気 新社屋工場 1+2期

構造 | 鉄骨造

階数 | 地上2階

敷地面積 | 7,965.24㎡

建築面積 | 2,896.35㎡

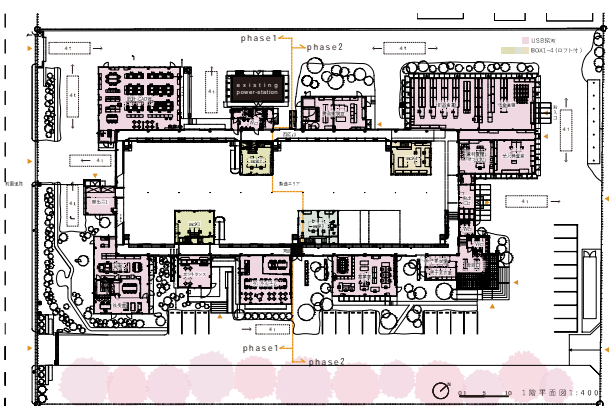
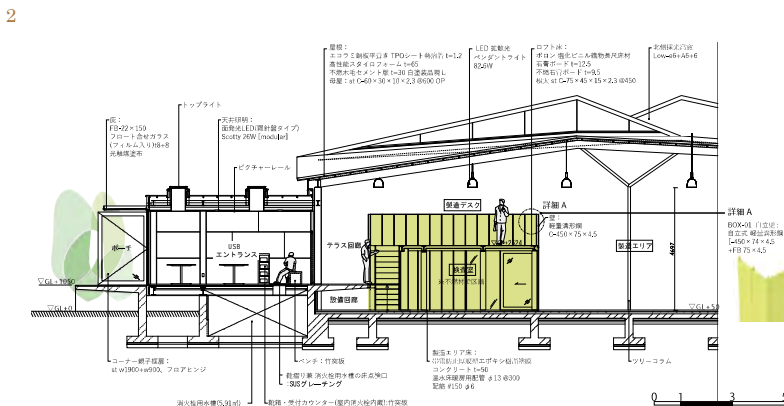
延べ面積 | 2,998.70㎡

(1期1,513.95㎡、  
2期1,484.75㎡)

竣工 | 1期…平成25年1月  
2期…平成30年5月  
(造園工事…  
平成31年4月)



- 1 北側俯瞰。中央に北向き採光のハイサイドライトが連続する大屋根。東西から接続する矩形のUSB諸室群
- 2 1期太鼓橋より1m下がった製造エリア全体を見渡す



1階平面図

東側断面詳細図(エントランス～製造エリア)

## 選評

本作品は、電子顕微鏡などの精密機器を製造する会社の本社社屋である。会社の中心的な機能である製造エリアを高天井の大部屋として中央に配置し、その周囲に設計や総務や資材管理といった製造を支える諸機能を納めた小部屋を配するという、会社の仕組みを素直に反映した平面計画となっている。

断面的にも、物の横移動が頻繁になされる中央の製造エリアはGLレベルに設置され、そ

れを取り囲む小部屋は1mほどレベルを上げて配されているため、どの小部屋からも製造エリアが一望に望めるとともに、内部の何処にいても会社全体が見渡せる仕組みになっている。製造エリアの屋根は、軽快なツリーコラムによって支持されているため、大部屋ながらスパンは過大とならず合理的に抑えられ、それでいながら柱の存在が気にならない一体感が強い空間が生まれている。

一方で周囲から見たときには、製造エリアの大空間が周囲に配された小部屋により分節されるため、生産施設にありがちな工場然とした大味なスケール感はなく、住宅が点在する周辺のコンテクストに馴染んだものとなっている。

クライアントのものづくりへの深い理解のもとにデザインされた、高い評価に値する作品だと思う。

(山梨知彦)